

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「小さな博物館」訪問⑧ 「羽子板資料館」

子供の頃、お正月に人形などの絵が描かれた羽子板で羽根つきをした思い出を、60歳以上の方でしたら誰もが持っていると思います。

向島5丁目に「小さな博物館」として「羽子板資料館」があります。展示販売している店内に入ると、華やかな羽子板が目飛び込んできます。店主で館長の西山鴻月(西山和宏)さん(55)にお話を伺いました。☆羽子板作りの道に入られたのは？

先代で父の鴻月(大正10年生)が、昭和12年、15歳の時に羽子板作りの道に入



門。19歳で独立。昭和30年代前半に現在の地に工房と店舗を構えました。家族皆で仕事を手伝う、俗にいう家内工業です。ですから小学校高学年になると、浅草の羽子板市にも手伝いに行きましたよ。私が高3の時、丁度社会的に職人ブームが起こり、都内百貨店で第1回職人展があり、大盛況でした。職人という職業が見直され、国内のデパートはもとより、地方からも声がかかり、海外での実演やテレビ、ラジオの取材を受けるのを見て、本気で仕事にしようと思い組みました。

☆押絵羽子板とは？

女の子が生まれ、初めてのお正月を祝うアイテムですね。魔除けであったり、祖父母が孫の成長を願うプレゼントします。ちなみに男の子には破魔矢です。

☆押絵羽子板の制作過程は？

下図描き→型を作る→髪を作る→面相を描く→組み

立てる→裏面を作る→図柄を取り付ける
一体一体作るのではなく、20〜30体位を一度に、目ならば目だけを描くので、出来上がる時は一度に全部完成します。押絵羽子板は、押絵師と面相師の二つに分業されています。

○押絵師は身体全体を前述の様にパーツ毎に作ります。着物の柄も役柄に合わせて、無地に一つずつ、柄をにかわが入ったごふんで描きます。

○面相師は、ただ顔を描くだけでなく、役者の表情や藤娘の表情といったものを描きます。
父は面相師でしたので、私は押絵の技法を身につけました。面相も20年前から始めていたので、結果私は、面相と押絵の登録無形文化財の認定を墨田区教育委員会から頂きました。

☆どの様なものが人気？

歌舞伎が好きな方は、ひいきの役者の演目のものを、求められるし、羽子板の型が末広がりめでめでたいので、

飾り物として求める人が多いです。子孫の無病息災を願って求めていく人もいます。

☆どの様な歴史が？

押絵羽子板はもともと江戸で生まれました。江戸歌舞伎があつたからです。押絵は技法で羽子板は羽根をつく遊び道具。これらはどちらも京都の方から来たものですが、のちに、江戸で羽子板に押絵をほどこし、押絵羽子板が出来たのです。

☆今後の抱負は？

抱負ですか？先代からの技法と心を大切に作り続けたいですね。『万能一心』上手く作っていても心がなければ何の意味もないという事です。今後も押絵を大切に守ります。

・羽子板資料館

住所：墨田区向島5-43-25

電話：3623-1305

開館日：木・金・土曜日

開館時間：AM10時〜PM5時

休館期間：11月1日〜

1月31日

「中年子育て奮闘記」 その37 鈴谷 明

「保育園での集団生活③」

ともあれ、娘の保育園生活がスタートすることになりました。計画通り、「初日は午前中」

「二日目はお昼ごはんまで」といった具合です。娘も「ほんのちよつとだけ遊んで、飽きた頃にママがお迎えに来る。」と理解していたようで、保育士さんや子供たちとも楽しく過ごして、おやつやお昼ごはんも美味しくいただきました。私の心配は全くの杞憂に終わろうとしていました。

しかし、最初の1週間が終わり、本格的に平日の朝8・30〜夕方5・00までの保育園生活が始まると、様相は徐々に変わってきました。

ある日のことです。4月と言っても私たちが住んでいる地域は、朝は寒く感じる日が続きます。家から保育園まで歩いて20分程です。大人にしてみれば自然に体が暖かくなってくる距離ですが、ベビーカーに乗っている小さい子供にしてみれば、寒

さが身に染みることになります。厚めの洋服とズボン、その上にコートを着せ、帽子を被らせ、膝には風よけの薄い毛布をかけて出発です。

自宅を出てしばらくは、お話ししながら進んでいきましたが、保育園が近づくにつれ、娘は無口になり、表情が硬くなってきました。「おや? どうしたのか

な?」と思っているうちに、保育園の建物が見える所までやってくると、急に震え出す始末。最初は「やつぱり寒いのかな?」とか「お熱かな?」などと考えましたが、出発前の検温も平熱でしたから、「わからないなあ」と思いながら、私が娘を抱き上げて保育士さんに手渡した瞬間に「パパがいいっ!」と叫んで泣き出しました。

「そうか、今までこの子は小

さいなりに我慢していたんだ。気が付かなくて悪かったなあ。」こんな小さな体で、ストレスを感じながらも健気に頑張っていることに感心しながらも、長い時間を親から離れて過ごさざるを得ない境遇に娘を置いてしまっていることに申し訳ない気持ち一杯になりました。

*保育制度は、自治体によって異なる場合があります。

<6月のサラダ>

手軽にクッキング 92

「梅ソースサラダ」

<材料> 4人分	(1人分 57kcal)
キャベツ	1/4個
梅干し	大1個
マヨネーズ	大さじ1
ごま油	小さじ1/2
パセリ	少々



<作り方>

1. キャベツはよく洗い、千切りにする
2. キャベツの半量を電子レンジにかける(1~2分)
3. 梅干しは種をとり、細かくたたく
4. 梅干し・マヨネーズ・ごま油を順番に合わせ、ソースを作る
5. 2のキャベツを4のソースで和える
6. 残り半量のキャベツと更に合わせ、全体をなじませる
7. 器に盛り、刻みパセリを散らす

*キャベツの半量を電子レンジにかけるのは、食べやすさの工夫です。お試しく下さい。

(5月の食育料理教室より~協力:食育支援部)

「公園の風景」

大野 昭子

花が咲き、若葉が一番きれいな季節を迎えて、公園の遊具も小さな子供でいっぱい光景が見られます。

公園デビューという言葉、私達ジジ・ババの時代はありませんでした。孫が育つ頃は、その言葉も全盛で、あちらこちらの公園に親子でデビューしていました。

デビューなどおしゃやかな言葉を使うのだと感心していましたが、近頃は状況が大分変わってきていると、孫の世代が小さい、シニアの方から伺いました。本名を名乗らない!住所を言わない!TEL番号も教えない!など個人情報保護法に配慮し、名前も〇〇公園の(A)ちゃん、〇〇公園の(B)ちゃんと、その公園での呼名にされて呼ばれているようです。驚きです。

親も本人も、自分の名前と公園での呼名にとまどっていると

のこと。あちらこちらの公園で遊ばせている親は、公園ごとの呼名を覚えて使い分け、(A)ちゃん、(B)ちゃんと面倒なことです。ずいぶんむずかしい時代になったと感じます。覚えるよりも忘れる事が早く多くなつた年寄り世代にはなかなか追いつけません。孫と公園で遊ぶのに二の足を踏みそうです。

そんな中、可愛い光景に出会いました。公園のベンチで母親に抱かれた赤ちゃんを、そばを通りかかった2、3歳の男の子が近寄つてきてのぞき込み、ふっくらとした手足を「かわいい」とさわりなでていると、赤ちゃんも嬉しそうにニコツと笑つたのです。何とほほえましい光景!撫でている男の子を見て思わず「ボクも可愛いよ!」と言つてしまいました。彼は恥ずかしそうにママを見上げていました。昔の懐かしい情景が思い出され

ます。

ほっこりした気分させてくれてありがとう。いつまでもバイバイ!と手を振ってくれるボクに、そしてママ達にありがとう。

さわやかさがいつまでも残っている公園を後にしました。



メルマガ希望者募集

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

原稿を募集しています。

どすこいかわら版では3面のエッセイにあなたの原稿を募集しています。

ぜひ、ご投稿ください。お待ちしております。

また、どすこいかわら版と一緒に作る方も募集しています。編集作業に興味がある方は、

てーねん・どすこい倶楽部情報紙部までご連絡下さい。

「シニア人材バンク

登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動を行っています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

平成30年度 第1回 生きがい講座

笑いながら、脳に汗をかく2時間!

認知症予防トレーニング

認トレ教室

- ◎認知症予防を目的とした「身体的トレーニング」と「知的トレーニング」を組み合わせたプログラムを、認トレインストラクターと一緒にを行います。
- ◎“喜楽”に笑って、動いて、考えて…楽しく脳を若返らせます!!

【日時】平成30年7月18日(水) 午後1:30~午後3:30
【会場】すみだ女性センターホール(墨田区押上2-12-7-111)
【費用】無料 【定員】40名
【対象】おおむね55歳以上の方
【服装】軽い運動のできる軽装
【持物】タオル(トレーニング用)

【認トレ教室とは…】

MCI・認知症の早期発見・早期治療に取り組む「ひろかわクリニック院長/広川慶裕(京都大学医学部卒:日本精神神経学会精神科専門医・指導医)先生」が監修する「認知症予防トレーニング教室」です。

■申込み・問合せ: NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

電話: 03-5631-2577

(受付時間: 平日午前10時~午後4時)

■主催: 墨田区

■企画・運営: NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間: 平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jp.org/>

今年は特に、花の
季が早まっています。
梅雨時の紫陽花も五
月には咲き始めていま
す。気が付いたら、花
が終わっていきは大变
です。

編集後記